

詳細及びその他研究成果情報はこちら



## 令和元年度

# 「農業の新しい技術」公表！

- 1 イチゴ「ゆうべに」の畝連続栽培では、2kg/10a以下の基肥窒素量で収量・品質が安定する
- 2 飼料用米の育苗箱全量施肥栽培は牛ふん堆肥の施用により収量が安定する
- 3 褐毛(あかげ)和種「第二十二光重」の選抜
- 4 黒毛和種「久茂国」の選抜
- 5 褐毛(あかげ)和種「重波泉」の選抜
- 6 褐毛(あかげ)和種「光玉重ET」の選抜
- 7 温州ミカン「熊本EC11」はシートマルチ栽培により高品質な果実が生産できる

※「農業の新しい技術」…生産現場へ速やかに普及・定着を図る成果



畝面耕起作業



久茂国



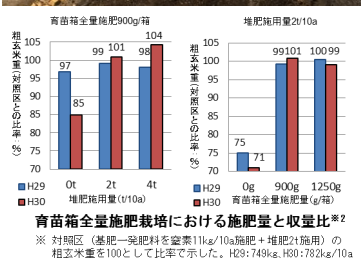
重波泉



光玉重ET



第二十二光重



### ★イベント情報

果樹関係

成果発表会

9/11(水)

13時30分～

16時45分

果樹研究所 研修館

(お問い合わせ先)

0964-32-

1723

### 【目次】

①優良種雄牛の作出 黒毛和種「久茂国」の選抜 P.2

②イチゴ「ゆうべに」の畝連続栽培は、2kg/10a以下の基肥窒素量で収量・品質が安定する P.3

③優良種雄牛の作出 褐毛和種「光玉重ET」の選抜 P.4



【お問い合わせ先】

畜産研究所

生産基礎技術研究室

096-248-6433



# 黒毛和種種雄牛

## 「久茂国」(ひさしげくに)

脂肪交雑が歴代最高の成績であり、ロース芯面積にも優れていることから、肉質の改良に貢献することが期待できる種雄牛です。



安福久

安福165の9

もとじろう

百合茂

ふきこ

ゆりえ

安福(岐阜)

しげふじ139の7

紋次郎

もとひかり

平茂勝

しらゆり

北国7の8

第2のりみ

### 【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm<sup>2</sup>, cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 6頭	28.5	480.1	61.7	7.9	2.7	74.3	7.27	83.3% (5/6)
雌 18頭	28.7	427.5	61.4	7.5	2.6	74.8	7.11	83.3% (15/18)

※BMSNo(牛脂肪交雑等級)…等級が高いほど霜降りの度合いが高い

### 【産子の枝肉】



形質	程度	程度					程度	SBV
		-1	0	1	2	3		
枝肉重量	小さい		■				大きい	0.70
ロース芯面積	小さい			■	■		大きい	2.49
ばらの厚さ	小さい		■				大きい	0.66
皮下脂肪	厚い		■				薄い	1.22
脂肪交雑	少ない		■				多い	2.41

### 標準化育種価 (SBV) とは?

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値  
1を超えるとその特徴を持つといえる

性別	去勢
枝重	526kg
ロース	67cm <sup>2</sup>
バラ厚	8.4cm
BMSNo.	11
等級	A-5

【お問い合わせ先】

農産園芸研究所  
野菜研究室

096-248-  
6446

# 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発

## イチゴ「ゆうべに」の畝連続栽培は2kg/10a以下の基肥窒素量で収量・品質が安定する

近年、現地では省力化や排水性の向上のため、畝連続栽培\*が増えつつあるため、最適な基肥窒素量について明らかにしました。

※前作で用いた畝をそのまま次作で連続して使用する栽培方法。



写真 畝面の耕起作業の様子

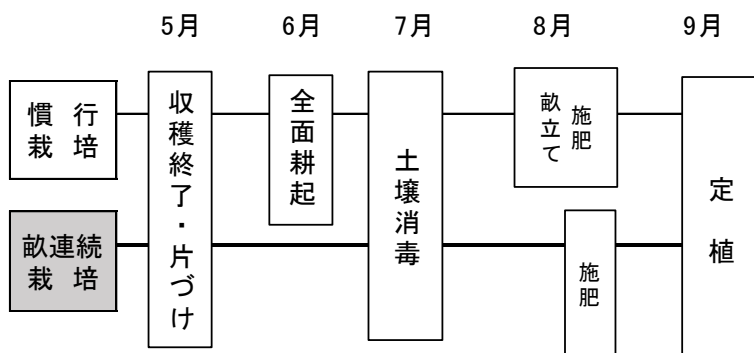


図1 畝連続栽培の作業スケジュール(5月~9月)

【長所】

- ・ 省力的
- ・ 排水性の向上
- ・ 計画的な定植ができる

【短所】

- ・ 前作の肥料が残存

### ◆研究の成果

1. 基肥窒素量を減らしても、定植後も順調に生育します。収量については、年内の可販果収量も減少せず、総可販果収量も安定します。
2. ガク枯れや奇形果などの障害果の発生が少なく、秀品率も向上します。

以上のことから、**「ゆうべに」の畝連続栽培では、基肥窒素量を2kg/10a以下にすると、収量及び品質が安定**しました。

表1 窒素施肥量と果実品質

年次	基肥窒素量 (kg/10a)	障害果発生率		秀品率 (%)
		ガク枯れ (%)	奇形果 (%)	
H28 (2016年)	0	0.2	0.2	92.5
	1.5	0.2	0.1	92.3
	3	3.3	2.4	91.2
H29 (2017年)	0	0.1	0	93.1
	2	0.5	0	94.6
	4	1.3	0.6	88.9

秀品率が高い

施肥量が少ない区に比べて障害果の発生が多い

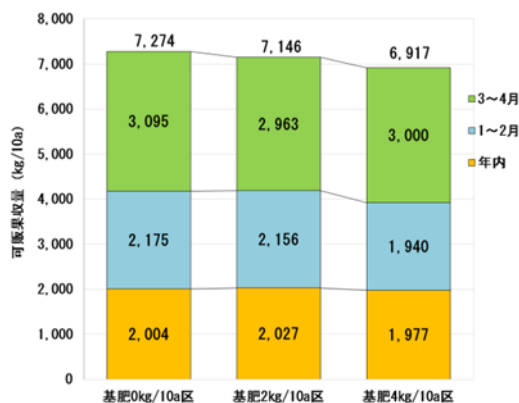


図2 基肥窒素施肥量と総可販果収量

### ◆普及上の留意点等

定植後の生育を見ながら、必要に応じて追肥を行いましょう。

基肥を施用する場合は、畝中心にできるだけ深い位置で肥料を混和しまししょう。

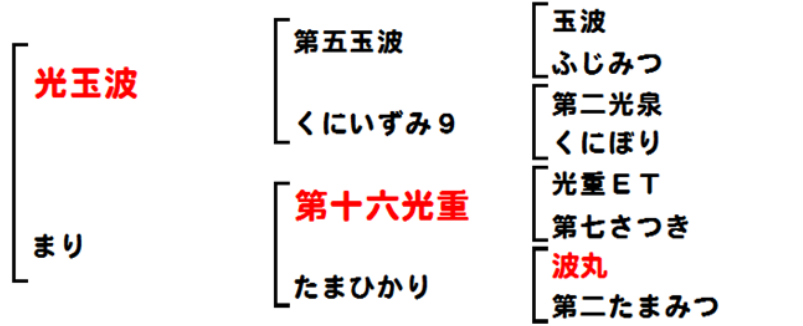
【お問い合わせ先】

畜産研究所  
生産基礎技術研究室  
096-248-6433

くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定②

褐毛和種種雄牛 みつたましげいーていー  
あか牛「光玉重E T」

光玉波を父に持つ本牛は、枝肉重量が極めて優れ、ばらの厚さにも優れていることから、特に肉量面の改良に貢献する希少系統種雄牛として期待できる種雄牛です。



【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm<sup>2</sup>, cm)

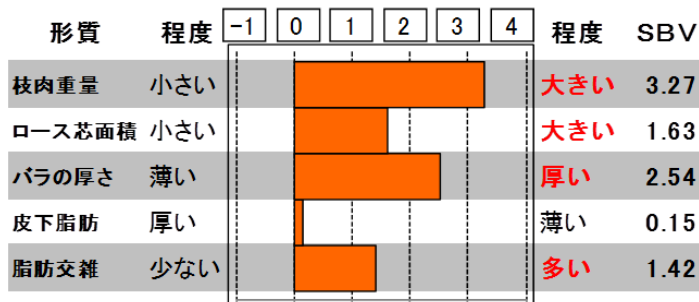
頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 9 頭	24.9	513.2	54.8	8.2	2.9	73.0	3.33	44.4% (4/9)
雌 5 頭	24.9	491.3	53.2	8.2	4.0	72.1	4.20	40.0% (2/5)

【産子の枝肉】

※BMSNo(牛脂肪交雑等級)…等級が高いほど霜降りの度合いが高い



性別	雌
枝重	472kg
ロース	60cm <sup>2</sup>
バラ厚	8.4cm
BMSNo.	8
等級	A-5



標準化育種価 (SBV) とは?  
育種価(遺伝的能力を明確化した数値)  
1を超えるとその特徴を持つといえる

KUMAMOTO Pref. 農業研究センター

〒861-1113  
熊本県合志市栄3801  
tel 096-248-6411 fax 096-248-7039  
E-mail noukenkikaku@pref.kumamoto.lg.jp  
本紙の内容に関するお問い合わせは、企画調整部 企画情報課までご連絡ください。

農業研究センター HPはこちら →



管理部

総務課  
経理課  
096-248-6412

企画調整部

企画情報課  
096-248-6422  
096-248-6423

農産園芸研究所

作物研究室  
パイオ育種研究室  
花き研究室  
野菜研究室  
096-248-6444

茶業研究所

096-282-6851

高原農業研究所

0967-22-1212

球磨農業研究所

0966-45-0470

生産環境研究所

土壌環境研究室  
施設経営研究室  
病害虫研究室  
096-248-6447

畜産研究所

大家畜研究室  
中小家畜研究室  
生産基礎技術研究室  
飼料研究室  
096-248-6433

草地畜産研究所

0967-32-1231

アグリシステム総合研究所

アグリビジネス支援室  
フードバレー推進室  
生産情報システム研究室  
いぐさ研究室  
野菜栽培研究室  
いぐさ普及指導室  
0965-52-0372

果樹研究所

常緑果樹研究室  
落葉果樹研究室  
病虫化学研究室  
0964-32-1723

天草農業研究所

0969-22-4224